

平成31年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	02	01	13	124520	花と緑の創出事業費		
総合計画	分野	02	暮らし	政策	01 環境の保全		
	施策	05	花のあるきれいなまちづくり				
目的	花と緑に親しむ機会を創出するため、花いっぱい運動や公共緑化の管理を行う。						
対象	市民、事業者						
意図	1年を通して花と緑にふれあう場をつくる。						
事業概要	花と緑のまつり2019の開催 4,000千円						
	花と緑の会への活動支援 89千円						
	花いっぱい運動の展開 5,406千円						
	公共緑化業務等 3,731千円						
市民参加の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標			単位	区分	H30	H31	R02
1	花苗の供給数	千本	計画	320.00	280.00		
			実績	263.00	252.00		
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	H30	H31	R02
1	花壇実践登録件数（花苗供給を受けた団体・個人）	件	目標	350.00	350.00		
			実績	363.00	349.00		
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
花壇の実践については、チラシとガイドブックを作成してPR活動に力をいれたが、花壇実践登録件数の目標に僅かに届かなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市総合計画でも花のあるきれいなまちづくりを施策の1つとして位置づけており、市の関与は妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	花壇実践者や関連団体会員の高齢化が進んでいるので、制度のPR等を行いながら、担い手を育成支援する必要がある。実践者花壇の紹介や活動状況のPRを工夫することにより向上を図る。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費については、花苗供給方法の見直しを図っており、これ以上の削減余地はない。また、職員は当該事業を実施するための最低限の人員により事務を行っていることから、人件費の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	事業は、全市民、市内全域を対象としていることから、公平・公正である。花と緑のまつりについても、対象を特定しておらず、公益性にも配慮した内容で公平・公正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	花のあるきれいなまちづくりのために、花いっぱい運動の普及・推進を市内全域に浸透するように花苗配布を継続し、市内花壇の充実を推進した。
	次年度に向けて	高齢化が進み、地域での花苗育成のための維持が困難になってきている団体もあることから、今後も花いっぱいのみならず、まち並みを目指し、花壇等実践者の担い手育成に努めていく必要がある。

平成31年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	04	01	04	144240	環境衛生活動推進事業費	
総合計画	分野	02	暮らし	政策	01 環境の保全	
	施策	05	花のあるきれいなまちづくり			
目的	環境美化のため、清掃活動や害虫駆除を支援する。					
対象	市民					
意図	市民の清潔な生活環境を維持する。					
事業概要	衛生害虫駆除用の機器貸し出し、薬剤配布 144千円 一斉清掃の実施 1,382千円 環境審議会の開催 50千円 岩手県食品衛生協会花巻支会への補助金交付 150千円 公衆衛生組合連合会への補助金交付 725千円					
市民参加の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	一斉清掃の実施	回	計画	3.00	3.00	
			実績	3.00	3.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	一斉清掃の参加率	%	目標	56.00	56.00	
			実績	39.40	46.50	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
広報等による啓発活動のほか、公衆衛生組合連合会と連携し、一斉清掃への参加について呼びかけを行ったが、実施当日の悪天候の影響もあり参加率が伸びなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	清掃活動等の実施及び支援を通じ、生活環境の保全や公衆衛生の向上が図られるため妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	清掃にかかる幅広い啓発活動の実施により、一斉清掃の参加率を向上させる余地がある。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	環境美化及び衛生活動に必要となる補助等の支援を行うものであり、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	地域の清掃等の活動は、市民のボランティア活動に支えられており、その活動を支援することにより地域の環境美化が図られることから適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	一斉清掃の参加率については、天候等の影響により目標値を下回ったが、公衆衛生組合連合会等への活動支援により、地域の環境の美化が図られた。
	次年度に向けて	・清掃活動により、生活環境の保全が図られることから、今後も公衆衛生組合連合会等と連携し、一斉清掃等の活動を継続的に行う必要がある。 ・害虫駆除及び発生予防のためには市民の協力が必要であることから、駆除機器等の貸し出し等による防除活動を引き続き支援していく必要がある。

平成31年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	04	02	01	144350	生活環境保全活動推進事業費	
総合計画	分野	02	暮らし	政策	01 環境の保全	
	施策	05	花のあるきれいなまちづくり			
目的	河川の環境美化のため、市街地の河川清掃を行う。					
対象	地域環境					
意図	清掃活動を通じ、地域環境の美化を図る。					
事業概要	尻平川旧埋立地水質検査 108千円 河川清掃業務委託 657千円 5河川 地域の自治会等6団体へ委託 ・新川 ・後川（坂本町、愛宕町） ・藤沢川 ・籠堰川 ・旧瀬川 豊沢川活性化・清流化事業推進協議会補助金 250千円 河川清掃事業等に補助金を交付					
市民参画の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	河川清掃のごみ回収量	t	計画	1.60	1.60	
			実績	1.50	1.90	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
河川の美化を図ることを事業目的とし、清掃活動を継続することにより効果が生まれているものであることから、単年度での事業効果を表す指標を設定することが困難であるため成果指標を設定していない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	地域の環境保全に資するものであり、また、一般廃棄物の処理にも関連があるため妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	清掃活動の実施及び市民への啓発により、不法投棄を減少させる余地がある。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	地域団体への業務委託により実施する事業であり、事業費及び人件費について削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	清掃により、生活環境の美化が図られることから適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	河川清掃の実施により、生活環境の美化及び良好な景観の維持が図られている。
	次年度に向けて	河川清掃の実施により、地域の生活環境の美化が図られていることから、今後も事業を継続していく必要がある。

平成31年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	08	04	04	184260	公園整備事業費		
総合計画	分野	02	暮らし	政策	01 環境の保全		
	施策	05	花のあるきれいなまちづくり				
目的	市民が安全・快適に公園や緑地を利用することができるようにするため、公園施設の整備を行う。						
対象	公園利用者						
意図	公園を安全、快適に利用することができる。						
事業概要	公園トイレ洋式化事業（材木町公園外2箇所） 2,538千円						
	公園環境改善事業（材木町公園外1箇所） 14,780千円 大堰川プロムナード土留柵改修、材木町公園の芝張替え・馬面電車防護柵改修						
	公園整備事業（花巻中央広場トイレ整備） 3,745千円（全体事業費9,224千円：残額は令和2年度繰越）						
	公園等施設長寿命化事業 0千円（全体事業費30,000千円：全額令和2年度繰越）						
市民参加の有無	対象外						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H30	H31	R02
1	公園施設整備	箇所	計画		6.00	4.00	
			実績		6.00	4.00	
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	H30	H31	R02
1	公園事故及びトラブル	件	目標		0.00	0.00	
			実績		0.00	0.00	
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
公園施設の定期点検による危険個所の把握に基づいた計画的な施設補修の実施や、住民及び施設管理委託業者からの情報に対し、早期対応することにより、できるだけ利用者のニーズに合った公園施設の確保や危険を伴う公園施設の改善を行うことに努めたことと、計画的な公園施設の改善（トイレ洋式化、公園環境改善等）の実施により、事故やトラブルが発生しなかったと考えられる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	公園施設は公共関与が必要な事務であることから、市が取り組む必要がある。
	妥当である	
見直し余地がある		
妥当でない		
有効性	成果の向上余地	公園施設を整備することにより、安全性が確保され利用者が期待する公園環境が創出される。事業を継続的かつ計画的に実施していくことにより、利用者の満足度が向上する。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業を実施するうえで、もっとも効果的で必要最小限の施設整備に努めていることから、事業費・人件費の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	公園は一般に開放されているため、受益者は公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	公園施設の日常管理の結果や利用者、地域の要望を参考に、要求される内容の施設整備に努めている。
	次年度に向けて	今後も、社会や利用者のニーズに的確に応える安全、安心、快適な公園とするため、良好な公園施設を提供していく必要がある。 公園等施設長寿命化計画策定により、効率的かつ適正な公園の環境改善が期待できる。